

# 緑化の推進



## 「第48回全国育樹祭 みやぎ2025」開催機運醸成事業

宮城県大衡村



## 事業概要

第48回全国育樹祭の開催に向け、機運の醸成を図るため、「昭和万葉の森」において、地元の小学生のほか県民参加による植樹祭を開催したほか、ご下賜金を活用し、東北・北海道地区緑化推進協議会（北海道と東北6県の緑化推進委員会で組織）により記念植樹祭を開催・実施した。

## 事業成果

昭和30年に開催された第6回全国植樹祭で昭和天皇がアカマツをお手植えされた「昭和万葉の森」で、地元の大衡小学校の全校生徒や宮城県農業高校及び一般県民などの参加による植樹祭を開催した。協力をいただいた宮城県森林インストラクター協会の会員が、昭和万葉の森の植物観察などの森林体験学習を行い、引率教員からは「充実した活動」と上々の評判を得た。農業高校で開発し品種登録されたタマユメザクラ（玉夢桜）10本の植樹では、高校生が心を込めて育てた苗木を丁寧に植えている姿が印象的で、心強く感

じた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・参加した小学校の子どもたちは植樹活動に行く前に、今回植樹するアカマツの苗木について事前学習を行い、全校生徒が一生懸命に植樹活動に取り組んだ。
- ・「また絶対来て植えた苗木がどの位大きく育ったか見てみたい!」と話している子どももいて、地元の昭和万葉の森とのつながりが生まれうれしく感じた。今後の森林学習にも力が入る。貴重な体験に感謝したい。(小学校校長)

## 参加者の声

- ・昭和万葉の森には万葉植物や湿生植物など、520種があり、植物を通じて歴史・文化・自然・科学などの学びの場として、また健康増進の場として利用していきたい。
- ・先の全国植樹祭で植樹したアカマツ約5,000本が生育し、周辺にはヤマユリなどが咲き誇り多くの県民の憩いの場として親しまれており、改めて季節ごとに訪れてみたい。



小学生がみんなで植樹



アカマツを植樹



スタッフによる説明



植樹の準備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植樹面積：0.31ha  
植樹本数：620本

#### 参加者数

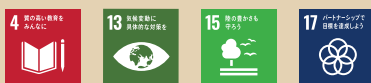
県内：454人  
県外：12人  
計：466人

#### 樹種

アカマツ、タマユメザクラ、  
広葉樹ほか

## 活樹祭～親子森林教室～

宮城県川崎町、千葉県君津市、京都府南丹市



### 事業概要

本プログラムでは野外活動と森林整備を体験することで、森林の課題と魅力を学び、木材の利活用への理解を促進することを目的とする環境教育活動である。①宮城県川崎町(るぼぼの森、百の森)：林業体験(伐採)、森林レクチャー、キャンプ体験、②京都府南丹市(ハビロー!の森)：森林整備作業(藪整備)、キャンプ体験、クラフト、里山ワークショップ、③千葉県君津市(君津亀山青少年自然の家)：林業体験(伐採)、木工クラフト。

### 事業成果

るぼぼの森は継続的に実施。昨年度のリピーターも参加していたことで、子どもたちの成長が見られた回でもあった。ハビロー!の森、君津亀山自然少年の家での実施となり、京都、千葉での開催の実績ができた。ハビロー!の森では、荒天であったものの雨天活動の導入や臨機応変なプログラムの組み替えにより、予定していた学習効果は十分に得ら

れた。千葉県では、参加した子どもたちが伐採した枝、丸太を持って帰るなど、森林への興味関心を引き出すことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・参加いただいた親子にはとてもよい体験の場と感じた。
- ・申し込みに比べ、当日キャンセルが多かった。キャンセルを防ぐ工夫を考えたい。
- ・活樹祭ははじめての活動だったが、とてもよい経験になった。大雨だったが、事故もなくよい活動となった。

### 参加者の声

- ・子どもたちはキャンプなど野外の経験が少なく、心配だったが、今回の参加を通して自然のありがたさや、団体行動、チャレンジする気持ちなどが育まれたように思う。
- ・伐った木を活用したクラフトづくりと1日の体験がつながっていてとても勉強になった。木の倒れる音などなかなか体験できないことを体験させていただいた。



伐木体験



森林整備



木工クラフト体験



ワークショップ

### 実績とりまとめ

**作業内容**  
 除伐面積：0.3ha  
 間伐本数：5本（森林体験、キャンプ体験）

**参加者数**  
 県内：23人  
 県外：22人  
 計：45人

## 緑のまなび事業(秩父市立久那小学校学校林整備事業)

埼玉県秩父市



### 事業概要

目的は、学校保有の学校林果樹園をより安全安心な果樹園に再生するとともに、学校林の保全活動と新規体験活動を行えるようにすることである。主な活動は以下のとおり。

①果樹園の歩道・階段の整備、刈払い、果樹の剪定、果樹の植栽・保護ネット設置、樹名板の設置、②学校林の除伐や枯損木の伐採、枝落し、③看板の設置、④落ち葉を集めて「かぶくわこども園」の設置、⑤森林環境学習(NPO等による指導)、⑥シイタケ栽培体験の資材準備。

### 事業成果

足場の悪い傾斜地での作業だったが、体験参加者は比較的細い木から伐採することで次の作業につなげることができた。緑のまなび事業で、果樹園に階段整備などが進んだことで、環境維持の心が参加者に芽生えた。学校ホームベ

ージにコーナーを設け、事業関係の記事を掲載した。

### 事業をよく知る関係者の声

・こんなにもきれいな学校林果樹園にしてもらってありがたい。きれいになった学校林果樹園でたくさん体験活動ができるように、今後もこの地の維持管理の協力を努めたい。子どもたちには伸び伸び育ってほしい。(学校応援団果樹園見守り隊代表)

### 参加者の声

・改めて久那小学校の果樹園の良さが分かった。(6年生男子)  
 ・落ち葉を集めて楽しかった。カブトムシを探したい。(1年生女子)  
 ・自分が書いた樹名板のプレートが果樹園に残るのがうれしい。(5年生男子)



果樹を植樹(参加26名)



植樹の記念撮影



植栽する果樹の樹名板書き(参加7名)



果樹園に登る階段を設置

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

歩道・階段整備：90m  
 植付本数：15本  
 樹勢回復：8本  
 刈払面積：0.7ha  
 除伐面積：0.4ha  
 枯損木伐倒：10本

#### 参加者数

県内：133人  
 県外： 2人  
 計：135人

#### 樹種

ウメ、ミカン

## 地域における園庭・裏山整備等モデル事業（3年目）

長野県上田市、東御市、塩尻市



### 事業概要

上田地域において、これまで幼児を対象にした森林環境教育や森林整備活動の実績を有する森林NPO団体と、保育・幼児教育の専門性を有する保育者養成校が連携した支援体制を構築した上で、①園庭・裏山等の整備計画の策定、②園庭緑化・裏山等整備活動、③さらには安全研修等をパッケージで支援することで、地域が主体となって、園児・卒園児と保護者・地域住民等が概ね各回60名近い参加者を得て、園庭・裏山や地域の森林等の整備・活用モデルを創出することができた。

### 事業成果

上田女子短期大学附属幼稚園では、主体的・継続的に参加する保護者や卒園児等が増える中で、卒園児保護者グループが結成された。また、卒園児とその保護者の主体化を進めるため、本年度には「みどりの少年団」に登録した。これらの活動は、広く保育分野にも評価されている。



植樹



各回60名近い参加者で活動



卒園児とその保護者の主体化を進めるため、みどりの少年団結団



下刈り

長野県東御市和地域では、地域住民が主体となった里山整備活動が行われていたが、参加者の高齢化が進む中で、「子どもの遊び場づくり」という視点で活動を行うことで、子育て世代を中心に約60名の参加が得られ、地域づくり組織内でも高い評価が得られた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・今後の課題として、地域や保護者の関わり継続的な関係性の構築が上げられる。一方、地域資源の活用と地域一体となった子育ての拠点になり得る資源の可能性を感じ、今後に期待している。(指導者)

### 参加者の声

- ・自然の中で家族や他の参加者との関わりを持つことができ、楽しかった。(保護者)
- ・家庭では気づかない子どもの一面に気づくことができた。(保護者)
- ・家族と裏山で過ごせて楽しい。(園児)
- ・専門業者に整備を依頼するのではなく、園児の遊びとつながった整備を保護者と共同的に行うことに、教育的な意味合いを感じた。(教職員)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：5本  
 下刈面積：2.2ha  
 除伐面積：2.2ha  
 間伐面積：0.1ha  
 遊歩道づくり：290m  
 その他：森遊び、森林調査、安全研修ほか

#### 参加者数

県内：640人  
 県外：6人  
 計：646人

#### 樹種

オオヤマザクラ

# 緑のまなび事業（登米市立東和小学校「森の学び舎」整備事業）

宮城県登米市



## 事業概要

令和7年4月に旧東和町の3つの小学校が統合し、東和小学校が開校した。これを機に、児童が自然の大切さを肌で感じると同時に地域の憩いと交流の場となるよう「森の学び舎」として整備する。また、同年の小学校統合に伴い、新たに「東和みどりの少年団」が結成された。前身の「米川みどりの少年団」の志を受け継ぎ、緑の募金活動や学校林の整備、市民の森整備活動など、継続的に森林環境教育活動を促進する。

## 事業成果

児童が自然とふれあいながら学べる環境をつくるため、ジンダイアケボノやサイフリボクなどの広葉樹4種類を植樹したほか、コノテガシワの整枝・剪定、ポプラの枯損木の伐採・処分を行い、「森の学び舎」として整備を行った。この「森の学び舎」が地域の皆さんにとっても憩いと交流の場

となることが期待される。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・登米市では、児童の学習環境整備を目的とした本事業の実施に当たり、学校環境整備を所管する登米市教育委員会から協力を得て実施し、高い評価を受けた。学校周辺に植栽した樹木の適正な維持管理に向けては、日常的に学校に勤務する教職員と、学校管理を担当する登米市教育委員会との継続的な連携体制の構築が重要である。

## 参加者の声

- ・校門前にジンダイアケボノという品種のサクラを植樹し、来年の春に花を見るのが今から楽しみ。（「東和みどりの少年団」の17名の団員）
- ・みどりの少年団員から贈られたユニフォームを着て東和の自然に親しみ、緑を守り育てる活動に取り組んでいきたい。（公益社団法人ゴルフ緑化促進会）



「森の学び舎」完成式典の開催



広葉樹4種類を記念植樹



学校進入路沿いの斜面緑地に植樹



記念標柱を設置

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha

植付本数：25本

樹名板：8枚

記念標柱：1本

#### 参加者数

県内：32人

県外：2人

計：34人

#### 樹種

ジンダイアケボノ、サイフリボク、ハンカチノキ、オオデマリ

## 「海に見える命の森づくり」植樹祭（「第48回全国育樹祭みやぎ2025」開催機運醸成）

宮城県南三陸町



## 事業概要

本事業は、第48回全国育樹祭の開催を記念し、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発することを目的とする。主な活動は、東日本大震災の津波により大きな被害のあった南三陸町の太平洋を望める「海に見える命の森」において、地元の南三陸町立志津川小学校、入谷小学校の5年生を対象に、植物を中心とした自然観察会を実施するとともに、地域住民との協働で植樹祭を開催した。

## 事業成果

地元の次代を担う児童・生徒が、地域住民との協働による植樹祭を体験したことは、大変意義深い取り組みとなった。また、引率した教員からは、「地域の植物や植生に関する学習活動に対し、児童が目を輝かせながら参加していた

ことが印象的であった」との声が寄せられ、今後も継続的な実施を望む意見があった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・参加した地元住民からは、地元小学生とともに植樹活動を体験し、児童が一生懸命に植樹に取り組む姿に感動するとともに、大変楽しい時間であったとの感想が寄せられた。また、今後もこのような児童らと協働して行う森林整備活動の機会があれば、参加したいとの意見があった。

## 参加者の声

- ・自然観察会や植樹作業に参加できて楽しかった。(小学生)
- ・5年生が総合学習として、地元の自然と関わることができ、貴重で良い体験であった。(先生方)



「海に見える命の森」植樹祭の様子（近景）



広葉樹7種を植樹（遠景）



バイオマストイレの使用説明



植樹祭集合写真

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
植付本数：95本  
自然観察会：1回

#### 参加者数

県内：65人  
計：65人

#### 樹種

ヤマザクラ、ヤマモミジ、ロウバイ、エゴノキ、ウツギほか

## 士幌町げんきの森 木育促進事業

北海道帯広市



### 事業概要

高校生や地域住民を対象に、士幌町において森林環境教育を実施した。主に下草刈りや伐倒、薪割り等を行い、外部講師として十勝管内の木育マイスターを講師により、地域林業について学習を深めた。

### 事業成果

当該地域は、熊の出没がある地域であり、森林活動時に安全確保する必要があった。そのため、今年度電気柵を設置することにより、活動者の安全が確保され、事故や怪我がなく活動することができた。

また、地域の小学生や中学生が森林の保全活動や森林学習に参加することで、今後の森林環境に対する意識を変化させることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・助成金を活用することで、森林環境教育がより発展する可能性を感じた。経済や林業、地域産業などを総合的に考えると、参加者の今後の進路選択に役立つのではないかと。地域の小中学生も参加することができ良かった。(教諭)

### 参加者の声

- ・講師の話がおもしろく、多くの経験を得ることができた。今後の進路活動に生かしていきたいと思う。(高校1年男子)
- ・チェーンソーで木を伐るときに、方向をいろいろ考えていることが分かった。木が倒れる音が大きく、新鮮だった。(高校1年男子)



下草刈り



小学生の薪割り体験



伐木作業を見学(森林講座)



活動中の安全のために設置した電気柵を撤去・回収

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.38ha  
 除伐面積：0.01ha  
 間伐面積：0.01ha

#### 参加者数

道内：405人  
 計：405人

# 「森と海を結ぶ・絆の森林づくりプロジェクト」事業

宮城県東松島市



## 事業概要

令和3年全国豊かな海づくり大会において東日本大震災からの復興を遂げた「みやぎの豊かな海」を県内外へ発信したことに続き、令和7年全国育樹祭が本県で開催されたことから、森林の大切さや、復旧した海岸防災林の姿を通じて、震災の教訓を広く全国へ発信する機会ができた。大会を契機に、森と海、そして人々の絆をさらに深めていくため、沿岸養殖漁業の盛んな東松島市の浜市漁港に隣接し、東日本大震災の津波により被災した海岸防災林の再生を図り、水産業の環境改善を目指して、森と海の関係者や次代を担うみどりの少年団が協働で植樹活動を実施する。

## 事業成果

前年に続き、林業・漁業関係者が協働で植樹活動を実施し、「森と海」のつながりや海岸防災林の重要性を伝えることができた。今後も協働による活動を通じ、豊かな森と海をはぐくむ取り組みを進めていきたい。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・県行政においても「みやぎ森と海の交流促進事業」として、沿岸域での森と海との協働活動を推進しており、連携することで相乗効果が期待される事業である。今後も、平成31年度に発足した「宮城県水産林政部」における水産サイドと林政サイドとの協働プロジェクトを推進するツールとして取り組んでいきたい。(宮城県水産林政部水産林業政策室長 50代)

## 参加者の声

- ・今後も林業と漁業の関係者による協働での植樹活動を促進することで、地域の観光資源でもある豊かな森と海を育み、その保全に努めていきたい。(自治体職員 50代)
- ・毎年参加している。本取り組みは、水産業・林業に加え、地域の歴史や観光の活性化にもつながるものであり、今後も継続して参加したい。(野蒜築港ファンクラブ会員 70代女性)



ヤマザクラ3本を記念植樹



林業と漁業の関係者による協働での植樹活動



支柱を設置



植樹に参加された皆さんと松くい虫抵抗性クロマツ

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
植付本数：603本

#### 参加者数

県内：54人  
計：54人

#### 樹種

松くい虫抵抗性クロマツ、ヤマザクラ

# 「緑と木の温もり」を活かした能登半島地震復興支援事業(1)

石川県輪島市ほか1市2町



## 事業概要

能登震災で被災した方々が居住する仮設住宅団地等において、プランター・ガーデンボックス等の提供を行うことで、被災者が安らぎと生きがいを育める環境を整備することが目的である。主な活動は以下のとおり。①仮設住宅団地等へ木製プランター・木製ガーデンボックスの提供、②復興商店街へ日よけ(つな木・木製シェード)の提供。

## 事業成果

被害を受けた市町職員や、被災者支援にあたる災害ボランティア団体と密に連携し、情報共有を図りながら被災地のニーズを踏まえて活動を実施した。また、プランターなどの組立式木製品を活用したことで、木の香りや温もりを

感じてもらうとともに、地域全体で取り組むことによりコミュニティ形成にも寄与した。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・木製プランターの組立ワークショップでは、和気あいあいとした雰囲気の中で行われ、新たにできたコミュニティの住民を結びつける機会となった。(災害ボランティア団体の方)

## 参加者の声

- ・土に触れる活動ができて楽しい。
- ・木の温もりや香りで癒される。
- ・近所の方と初めて楽しい会話ができた。(仮設住宅の住居者)



プランター・ガーデンボックスの組み立て



組み立てたプランター・ガーデンボックスに花を植える



大きめのプランター・ガーデンボックスで野菜栽培



つな木の組み立て

## 実績とりまとめ

### 作業内容

プランター・ガーデンボックス：600個  
つな木：2個

### 参加者数

県内：440人  
計：440人

## 「緑と木の温もり」を活かした能登半島地震復興支援事業(2)

石川県七尾市、穴水町、能登町、輪島市、珠洲市



### 事業概要

能登地震及び豪雨災害で被災した方々が入居する仮設住宅団地や福祉施設等にプランター等を提供する。また、学校や公園等の被災により子どもたちの仮の遊び場となっている施設等にルームプレートや積み木を提供し、緑と木の温もりによる癒やしを通じたコミュニティ形成の支援を図る。

### 事業成果

被害を受けた市町職員や被災者の支援にあたる災害ボランティア団体と連携し、被災地のニーズを踏まえた活動を実施した。また、プランターやルームプレート、組手付、積み木等の木製品を使用したことで、木の香りや温もりを感じていただき、地域全体で取り組めたことで、コミュニテ

ィの形成を図ることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・放課後教室等のルームプレートの製作では、教職員のOBの方の熱心な指導のもと、被災後に疎遠となっていた子どもたちの交流が生まれ、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく取り組む機会となった。(放課後児童支援員)

### 参加者の声

- ・放課後教室等ルームプレートの作成では、離れ離れとなっていた子どもたちの交友の場となり、親交の和が感じられた。
- ・お友だちといっしょにお絵描きができて楽しかった。
- ・お友だちに絵の描き方を教えてもらった。



木製プランターに花植えをする子どもたち (放課後児童クラブKID'S夢工房)



木製プランターの組み立て (もんぜん風の家)



積み木を提供 (親子ふれあいランドぽっかぽっか)



ルームプレートに絵を描く (松波こども園つくし組)

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

(提供)  
木製プランター  
木製組み立て仕器 (組手付)  
ルームプレートや積み木

##### 参加者数

県内：180人  
計：180人

# 組み立て什器（組手什）を用いた岩手県大船渡市山火事被災地支援事業

岩手県大船渡市



## 事業概要

間伐材の利用を通じ、森林の循環利用や多面的機能の重要性の普及を行うとともに、令和7年「大船渡市大規模林野火災」により消失した森林の早期復旧を目指す。火災により被災し、応急仮設住宅に入居している住民を対象に、間伐材を使用した木製組み立て什器（組手什）の製作を行い、間伐材の利用促進と森林整備の重要性についての普及を実施。住民同士が木製品を製作しながら交流を深め、木材の癒やし効果による交流促進を図る。

## 事業成果

今回の製作実演会では、組手什の製作を通じ、森林の循環利用や多面的機能の普及も図ることができた。講師の森林組合の方からも、東日本大震災や能登半島地震でも被災者が組手什を製作しながら、木の癒やし効果により被災住民同士の交流促進にもつながっており、今回の山火事で焼

失した森林の早期再生への機運も高まった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・以前東日本大震災や能登半島地震でも組手什の製作実演を行ったが、この取り組みは、普段見慣れている地域の山の間伐材が有効活用されていることに加え、避難所等でプライバシーの保護や整理整頓につながるとの高評価である。（実演指導をいただいた宮城県登米森林組合の参事）

## 参加者の声

- ・仮設住宅に入居したが、違う地区の方も多く、今回の製作実演で一緒に製作しながら交流もでき良かった。
- ・今回製作した組手什は間伐材が利用されており、森林整備にもつながると説明を受けた。今回の山火事で焼失した森林も早く再生していただきたい。（組手什の製作実演に参加した仮設住宅入居中の住民）



組手什の製作の様子



製作完了



高齢で製作が困難な参加者は要望を聞きながらスタッフが作成



会場に来られなかった方はサイズを聞き制作し届けた

### 実績とりまとめ

**作業内容**  
森林資源活用：1,902本（組手什キット98セット）

**参加者数**  
県内：21人  
県外：3人  
計：24人

## 企業と地域と共創する森づくり事業

北海道富良野市



### 事業概要

企業の社会責任として、植樹や環境活動を取り入れる企業が近年増加しつつあるため、道内企業と協力して植樹や森づくり作業を行った。

### 事業成果

森林の整備として使用していた機材が長年の使用によって故障や不具合が生じてきたため、機材の購入を行った。最新のは軽量化が進んでおり、スタッフの疲労軽減にもつながり効率が良くなったと実感している。今後の展望として、森林の環境調査を種類ごとにサイクルさせる流れが整ってきたので、このペースでの調査を継続していきたい。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・機材や道具の充実によって、新たにSNSによる情報発信の取り組みを行うことが可能となった。そうした組織の取り組みに対して、連携団体（富良野演劇工場）各方面から新たな取り組みの良い評価をお声掛けいただけるようになった。

### 参加者の声

- ・参加者の属性は基本的に変化がないが、継続して参加してくれている団体（札幌市内の私立中学や全国の大学を含め8校）が再び参加していただいているので、活動の理念や思想に間違いがないことを実感している。



自然塾分校との植樹会



企業のワーケーションを受け入れ



森林の環境調査として専門家がコウモリ調査を実施



森づくり作業

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：1.0ha  
 植付本数：700本  
 下刈面積：3.0ha  
 間伐面積：1.0ha

##### 参加者数

道内：27人  
 道外：43人  
 計：70人

## 持続可能な（カーボンニュートラル）地域づくりプロジェクト

北海道弟子屈町



### 事業概要

事業実施場所である弟子屈は、道東有数の観光地である。その主流はドライブ観光であり、自動車による長距離移動によって排出されるCO<sub>2</sub>（年間推定630万kg）を植樹（1本14kg）によってニュートラル化する！ことをテーマに植樹祭及び住民・子どもたち向けの学習会（木育教室）を開催する。

### 事業成果

前年度まではそらの森プロジェクトとして、今年からカーボンニュートラルをテーマに13年目となり、毎年どんぐりやクルミの実を苗畑に蒔き、成長した苗を移植するというサイクルを繰り返し次へとつながる活動を行っている。

植樹範囲も年々広がってきており、参加者も地域住民や子どもたち、障がい者、観光客らを含めて延べ620人を超え、

森づくりの夢は順調に進んでいる。

今年度は過去に植樹した際に台風の影響で育ちが悪かった区画のメンテナンスを行った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・雨天で少人数だったが、いつもと違う感じがして楽しかった。
- ・明らかに人為的に伐られている木があったので、見守りを徹底していきたい。

### 参加者の声

- ・不参加にしようか迷ったけど参加してよかった。(30代女性)
- ・長年参加しているが、今年で終わりなのは寂しい。別の場所での植樹活動も検討してほしい。(50代男性)



植樹の様子



植栽したアカエゾマツ



植樹現地



参加者とスタッフで記念撮影

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.8ha  
植付本数：220本  
下刈面積：0.8ha

#### 参加者数

道内：29人  
計：29人

#### 樹種

カラマツ、シラカバ、ドロノキ、アカエゾマツ

## 遊々の森における除間伐伐採・植林活動

青森県鱒ヶ沢町



### 事業概要

昨年から国有林の伐倒木を買い取り、除間伐材をリサイクルして活用することで、森林保全や持続的な森林経営、森林炭素蓄積の増強、林産品ビジネスなど、SDGs活動を体験するプロジェクトを実施している。特に今年はある程度貯まった材木を支柱や板材として、補修に使ったりしている。SDGs活動にも貢献している。

### 事業成果

今年は春の時点でクマの出没が確認された。植林や事前の作業等にも爆竹やラジオを鳴らしたりして、事故なく春

の植林活動と除間伐作業を終えることができた。143名が植林に参加してくれて150本のブナの苗木を植林することができた。4年間では、469名が参加し、550本のブナの苗木を植林することができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・積極的に遊々の森を利用して広葉樹の植林活動を積極的にしていることに感謝している。(森林管理署署長)

### 参加者の声

- ・初めて木を植える作業をして大変だったが、将来すくすくと育つことを願っています。(小学6年生)



地拵えを終えた後に支柱を立てる



植え方を指導するスタッフ



植栽するブナ苗木と参加者



山林に分け入ってブナを植栽

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.0ha  
 植付本数：150本  
 下刈面積：2.0ha  
 除伐面積：1.0ha  
 間伐面積：0.5ha

#### 参加者数

県内：130人  
 県外：20人  
 計：150人

#### 樹種

ブナ

## 「癒しの森」の苗を守る草刈り作業

宮城県栗原市



### 事業概要

これまで約1,200本植えた苗を守るために、排水路の整備と草刈り作業を行う。また、草刈り作業はイノシシの隠れ場所を無くすためにも大切な作業である。

### 事業成果

広い敷地の中で植樹はほぼ終わっていたと思っていたが、精査してみるとまだ植樹が必要な場所があり、今年最後の植樹作業として198本を急ぎょ植えることとした。植樹地は上の段と下の段2か所に分けられる。植樹は上の段から始まり、その後下の段へと進んだが、下の段の半分以上が深い側溝と同じ高さにあり、水はけが悪い環境にあった。今回は森林管理署の了解を得て、側溝に穴をあけて大きな暗渠を2か所設置し、そこに水を集めるようにしたことで周辺の水はけが改善した。これまで植えたサクラは、5月31日の調査では40本確認された。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・広い植樹地の苗の管理はとても大変である。草は刈ってもすぐ伸びて、何度も草刈りを行わなければならない。仙台から作業地が近ければ参加者も増えるのと思うが距離が離れており、会員の高齢化により車の運転も心配である。しかし昨年からの地元の協力者が少しずつ増えてきているのが大きな展望である。

### 参加者の声

- ・植樹作業に毎回参加しているが、年々植えた苗が大きくなっている。(一般参加者)
- ・栗原市のために森林再生のために尽力されたい感謝しかない。(栗原市関係者)
- ・これからも日程が合えば、作業に協力したい。(地元の協力者)



草刈り作業と苗探し



植栽の様子



植栽した苗木



背丈を超えた苗もたくさん増えた

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0,3ha  
植付本数：198本  
下刈面積：2.2ha

#### 参加者数

県内：131人  
県外： 3人  
計：134人

#### 樹種

ミズナラ、サクラほか

## 里山保全整備事業

茨城県古河市



### 事業概要

フィールドである稲宮の森は、コナラ・クヌギの広葉樹が主体の平地林であるが、今、県内において大発生している害虫被害による立枯れが当会のフィールドにおいても発生している。健全な樹木にも被害が及ぶ恐れがあることと、立枯れによる倒木等により人的被害の危険性もあるため、被害木の伐採・搬出と伐採跡地に里山の景観向上を図ることを目的にソメイヨシノを植林した。里山の景観向上は、市民が里山とのふれあいなどを通じて関心を高め、自然環境保全の啓発につながる。

### 事業成果

前年同様、被害木と風倒木の伐採・搬出処理を展開、伐採跡地には花木を植林し、里山の景観向上を図っている。開花時期には市民の入山も多くみられ、身近なふるさとの里山を保全しようという認識が高まってきた。このことは、地

球温暖化防止につながる自然環境保全啓発となっている。また、石油・ガス・電気等の料金高騰などにより、薪ストーブの利用が多くなっており、燃料として伐採した材の薪としての活用が高まってきた。今年度は上大野小1～3年生の里山体験活動において、ツツジ100本の植樹を実施した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・里山の保全活動着手前は、市民は里山の関心が無くなりごみ山として荒廃の一途を辿っていたが、保全整備の進捗と里山で花見の観賞ができるなど、現在では市民の散歩コースに活用されている。

### 参加者の声

- ・保全整備された里山に「ふれあう」ことができたという声が多く聞かれることと、毎年開催している市民参加の観察会などの実施により里山とのふれあいが増えてきたとの声がある。



立枯れ跡地に小学生が里山体験でツツジを植栽



ソメイヨシノ植栽地の整備



伐採材を薪に加工



地元企業の社員が里山整備活動に参加

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.0ha  
 植付本数：150本  
 下刈面積：2.5ha  
 除伐面積：0.5ha  
 森林資源活用（薪材）：5m<sup>3</sup>

#### 参加者数

県内：80人  
 計：80人

#### 樹種

ソメイヨシノ、ツツジ

## ヤマアジサイの森の清掃活動とボランティア育成講座

群馬県高崎市



### 事業概要

ヤマアジサイは日本が原産国であり、現地は貴重なヤマアジサイの自生地である。この森の価値を伝え、後世に残すために森の清掃活動とボランティア育成講座を開催した。

### 事業成果

活動内容は、ヤマアジサイの森の意義を学び、森の清掃活動としてヤマアジサイの周りの下草刈りを行い、小枝を粉砕機にかけチップにし、草刈りをしたヤマアジサイの周りに撒く作業を体験してもらった。その後、アジサイの森の見学を行った。活動には、中学生、高校生、大学生など若い参加者があり、森に興味を感じてくれた。今年度で4年目となるが、今回3回目の参加という大学生がいるなど、森の清掃活動に関心が広がったと感じる。地元の大学でも

好意的に学生に宣伝してくれている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・毎年若い人が参加しているので、活動の輪が広がるとよいと思う。
- ・活動の内容が楽しいので、森に遊びに行くような感覚で参加できる。

### 参加者の声

- ・森に行く機会がなかったので、参加して楽しい時間を過ごすことができた。
- ・森を毎年草刈りして整備しないと、森をきれいに保てないことが分かった。
- ・行く前は気が重かったが、すがすがしい体験ができ参加してよかった。



ヤマアジサイについての講義



道具は軽トラックで運搬。スタッフは緑色ベストを着用



ヤマアジサイの周りの草や木を取りチップにして撒いた



参加者のみなさん

### 実績とりまとめ

**作業内容**  
下刈面積：2.0ha

**参加者数**  
県内：70人  
計：70人

## 竹用クランプを使って竹の利活用を推進

千葉県市原市



### 事業概要

放置竹林をなくすためタケを伐採し、枯れ竹は竹炭づくり、青竹は竹用クランプを活用して遊具等をつくる体験をし、タケの利活用を推進した。タケノコ掘りを通して食育の活動も行った。目的は、竹林を整備して竹の利用と様々な活動ができる場として活用すること。主な活動は以下のとおり。①枯れ竹を伐採して焼却し水をかけての竹炭づくり、②竹クランプを活用したブランコ、流しそうめんの足などの製作、③発達支援放課後等デイサービスの子どもたちを招待して森林セラピーを実施、④大きくなりすぎたタケノコを国産メンマの材料として出荷、⑤一般市民に向けてミニ門松づくりの体験ワークショップを開催。

### 事業成果

タケのブランコは子ども、大人問わず大変人気だった。きれいになった竹林で写真撮影をしないと申し出があった。参加者のさらなる広がりの可能性を確認した。

### 事業をよく知る関係者の声

・「豊かな里山は人の手で作られる」(モリアゲ代表・長野麻子氏)の言葉どおり、里山は人の手で作られるものだと感じた。多くの関係者が関わり、豊かな里山ライフが構築されている。

### 参加者の声

- ・子どもと参加できて楽しい1日が過ごせた。(竹林整備参加者親子)
- ・こんなにたくさんのタケノコを初めて見た。山は豊かだと思った。(タケノコ掘り参加女性)
- ・はじめて流しそうめんを体験した。関わる方々が楽しそうに手際よく準備しているのがすごいと思った。(流しそうめん参加者)
- ・タケを生かして正月飾りができた。オリジナルの飾りを作るのが楽しかった。(ミニ門松づくり参加者)



ミニ門松づくりの参加者の皆さん



タケの剪定枝等を粉碎機でチップ化



竹クランプを活用した流しそうめんの足



竹用クランプ

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

除伐面積：0.4ha  
 間伐面積：0.4ha  
 森林資源活用：竹炭づくり  
 伐採本数：タケ120本

#### 参加者数

県内：30人  
 県外：62人  
 計：92人

## 鎮守の杜の防災・多自然整備プロジェクト

千葉県市原市



### 事業概要

地域で守る神社とお寺の参道沿いの森の法面が乾燥して不安定になっていた。コンクリートで固めるのではなく、木杭、丸太、落ち葉、炭など自然素材を使って土留め整備することで、微生物や菌類が増えて土壌が豊かになり、それによって法面崩壊を防ぎつつ、その場所が同時に昆虫などの生き物の棲み処となり、生物多様性が増進することを目指した。また、寺参道沿いの湧水湧き出し口周辺が不安定で泥が流出していたので、石積みをしてサワガニなどが隠れられる場所として整備した。境内の落ち葉を集積して土に還すための落ち葉ステーションを竹材で製作した。

### 事業成果

自然素材を生かした土留めや落ち葉ステーション製作、石積みの経験豊富な方に指導をお願いすることができ、会員と一緒に作業することによって、知識、経験を積むことができた。ボランティア参加者としては、20代から80代ま

で、地元、そして都市部からの参加があり、作業を通して良い交流ができた。地元の農業経験者が長年培った作業スキルを若者に伝授してくれ、都市部の若者たちが熱意をもって参加してくれていることで良い刺激を得ていただいたという手応えがあった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・自然素材を使い、水みちを堰き止めない土留めが地域に作られたので、これから植生が変わり、土壌が改良されていく様子を地域の方で見守ることができ、意識の変化が生まれると良いと思う。(40代、自営業)

### 参加者の声

- ・熟練の農業者の方に竹の枝の払い方のコツを教えてもらい驚いた。もっと早く知りたかった。(20代、学生)
- ・里山を守り続けることは大変だと思うが、頑張っしてほしい。(40代、会社員)
- ・若い人が地域に関心を持ってもらい、ありがたい。(80代)



落ち葉ステーション (タケの伐り出し)



落ち葉ステーションづくり



神社参道土留め完成写真



寺参道 (完成した土留めと湧水石積)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

神社参道土留：20m (3日間)  
 落葉ステーション：2日間  
 寺参道土留：100m(10日間  
 (湧水石積み含む))

#### 参加者数

県内：46人  
 県外：12人  
 計：58人

## 豊かな生態系を次代へ里山再生プロジェクト

千葉県木更津市



### 事業概要

目的は、令和元年度房総半島台風の被害により荒廃が進む「湧水いっせんぼく」周辺の里山再生を行うことである。主な取り組みは以下のとおり。①周辺の草刈りや倒木竹の撤去、②腐朽化・腐食した木道の修繕、③ハンノキ湿原周辺地域の植生調査（在来種の『ツリフネソウ』や『ギンイチモンジセセリ』、『ミドリシジミ』などを保護するため）、④担い手の育成（市民ワークショップ等を開催）。

### 事業成果

当協議会の下部組織に「きさらづ地域循環共生圏ネットワーク本部」を推進組織として設置し、里山再生部会で「湧水いっせんぼく」周辺の里山再生の方向性等について意見交換を重ねた。ハンノキ湿原周辺地域において、草刈り作業及び倒木・竹の撤去を実施し、危険箇所の木道を修繕し、来訪者が安全に通行できる環境を整備した。また、有識者

と連携し、自然環境の調査を行い、当該地域に生育する植物の確認を行った。さらに、市民ワークショップを開催し、里山の現状や自然環境の重要性について理解を深めていただく機会を提供した。これにより、地域住民の環境保全への意識向上に寄与することができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・今後の指針となる計画を策定できたことはよかった。また、木道についても応急的な処置ではあるが修繕できたので、来訪者等が安全に散策できる点も評価できる。ただ、具体的な活動内容等を示すことや地元との連携についても今後期待をしたい。（まちづくり協議会関係者）

### 参加者の声

- ・自然豊かで自然を感じられるすてきな場所なのに市内での認知度が低い。PRしたらいいと思う。（市民ワークショップ参加者）



里山再生部会



除草作業



修繕した木道



木更津市市民ワークショップ

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

里山再生部会での意見交換会：3回  
市民ワークショップ：1回  
木道修繕：約250m  
除草・倒木撤去：全7回

##### 参加者数

県内：179人  
計：179人

## 秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と保全

埼玉県秩父市



### 事業概要

多様性豊かな里森を目指して、竹藪及びタケが侵入し鬱蒼としたスギ林侵入竹を除伐（駆除）し、広葉樹を植えた。イノシシのヌタ場と化した湧水地を継続整備している。ホタル、トウキョウサンショウウオの生息する沢づくりを目指している。除伐木を薪に利用している。除伐したタケ材を使って竹炭焼にも挑戦し、同時に観賞炭焼なども参加者の楽しい取り組みである。クサギを使った草木染体験会を行った。対象地の荒れた沢も少しずつ整備が進みつつある。

### 事業成果

竹藪除伐作業、その場所への植樹活動等を、日本山岳会埼玉支部自然保護委員会のみなさんと共同で取り組んだことは、活動の大きな前進である。そうした中、「継続して参加していきたい」と新入会者を迎えることができた。センサーカメラを3か所に設置し、対象地に生息出現する動物の生態調査を進めている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・タケに侵攻された森を自然林に戻す努力はすばらしい。2017年10月に「ちちぶ里森の会」準備会を発足して以来、毎年の活動目標、イベントや体験会に取り組み、参加の幅を広げてきている。地権者及び地域住民との信頼関係も前進している。今後は、さらに会員を増やし、里森の整備・保全事業を通して都市部と地域との交流を深めていくことが求められる。（関係者）

### 参加者の声

- ・「小屋下の沢をホタルの飛び交う場所にしよう」などの楽しそうな企画に魅せられて参加した。山の恵みは豊かだ。林道、作業路傍らで、鬱蒼とした竹藪を見て、間引いて光を入れたらタケノコがたくさん食べられるだろうと思いながら歩いている。タケの除伐は刃物を使うので恐々ではあったが、徐々に慣れてきた。「元気な森を」と願っている。（参加者）



除伐作業



ドラム缶窯で竹炭焼



刈払機操作の練習



屋外草木染体験会

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：20本  
 下刈面積：0.3ha  
 除伐面積：0.6ha  
 森林資源活用：薪づくり、竹炭焼、草木染、柚子胡椒づくり等体験活動

#### 参加者数

県内：12人  
 県外：130人  
 計：142人

#### 樹種

ヤマザクラ、イタヤカエデ、カツラ、コナラ

## 千葉県富津岬の松林再生植樹活動

千葉県富津市



### 事業概要

目的は、千葉県富津市の富津岬周辺の松くい虫により枯れた松林の再生である。主な活動は以下のとおり。①松枯れで、灌木やタケ、雑草が生い茂り荒廃している松林内の灌木等撤去、地拵え、②クロマツの植栽、③植樹後の下刈り（2回）、④タケが繁茂した場所のタケの伐採、タケの抜根とかき起こし（一部業者委託で重機による作業）。

### 事業成果

植樹場所が竹藪化しており、伐根等に重機を使う作業が必要で、その費用を賄う資金調達が課題となっている。団体理事が地元企業の伝手を頼り、まず社員参加を要請した結果、植樹活動に参加していただいた。また、地元住民の参加増を目指して、活動地の周辺住民にポスティングを行った。結果、植樹当日地元からSNSやチラシで情報を得た5～6名が活動に加わった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・イバラやツル系植物が繁茂する当該活動地は、地拵え作業は専門家ですえ危険で、ボランティアだけで行えるレベルではない。チェーンソーや電気剪定鋏など道具を駆使できる人材の育成や、外部委託するなど実施体制は慎重に考えるべきだ。（地拵え作業に参加した造園技術士）
- ・地元で事業活動を行う企業としては、地域貢献は常に念頭にある。今回の植樹活動で良好な松林が復元されることは地元住民にとっても有益であり、社員にも貴重な機会となる。引き続き参加を検討したい。（参加企業担当者）

### 参加者の声

- ・植樹活動を指導してくれた班長が大変樹木に詳しく、楽しく学びながら活動できた。初めての植樹だったが、適切な指導できちんと植付ができてよかった。（企業社員）
- ・SNSで見て地元の富津公園近くだと知って参加した。来年は友人も誘って参加したい。（一般市民）



地拵え（作業前）



地拵え（作業後）



植樹活動（作業中）



下刈り後

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：440本  
 下刈面積：0.3ha  
 地拵え：0.05ha

#### 参加者数

県内：22人  
 県外：45人  
 計：67人

#### 樹種

クロマツ

## 西湘の放置林を整備し多様な生態系とエネルギーを生み出す循環をつくる

神奈川県小田原市



### 事業概要

50年以上放置されてきた里山（クヌギ・コナラ林や竹林など）を整備し、伐採材を利活用することで、多様な生態系と循環型の資源利用を生み出すことを目的とした。加えて、普段は山に入ることのない都市住民や地域住民を現場に招き入れ、将来の担い手を育てる呼び水とすることを意図し、単なる整備作業にとどまらず、交流しながら里山資源を活用する循環の仕組みづくりを進めた。

### 事業成果

森林整備活動で出た材は、ホダ木、ベンチ、菌打ち体験ワークショップ、薪、竹チップへ転換し、整備によって資源活用ができるようになった。整備活動に参加した都市部住民が、里山の現状（手入れ不足・担い手不足の悪循環）を

体感し、森林管理の重要性を学ぶ機会となった。市民への周知が進み、他の山主から「自分の山も整備してほしい」と相談が寄せられるなど波及効果が生まれた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・山主からは「長年放置してきた山に人が入ることで、やっとなら未来につながる形が見えてきた」との声があった。
- ・外部講師（林業家）からは「住民を巻き込みながら基礎的な整備を進めている点は、今後地域の里山整備の担い手を育成していく可能性がある」と評価された。
- ・一方で「活動を担うメンバーの負担が偏らない仕組みづくり」、「安全管理体制の明確化」が課題として挙げられた。

### 参加者の声

- ・山にある資源が宝のように思えてきた。ツルがリースになるなんて。山にあるものでいろいろ作れそうで買うのがもったいなく思えた。
- ・タケでパンが焼けるのに驚いた。おいしかった！また参加したい。
- ・自然と触れあうことができて楽しい。子どもにもこのような機会をどんどん与えたい。



参加者集合。整備作業に参加し、交流しながら里山資源を活用する



放置された広葉樹林の再生活動



シイタケ原木づくり



薪への加工

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：1.0ha  
 除伐面積：0.4ha  
 間伐面積：0.5ha  
 森林資源活用：ホダ木、薪、竹垣、リース、竹チップ、竹パン  
 その他（樹種、生物調査）：シガラ・ボサづくり

#### 参加者数

県内：157人  
 県外：22人  
 計：179人

## 多様性のある里山づくりと担い手育成

千葉県睦沢町



### 事業概要

目的はチェーンソーを安全に使い里山の改善活動を行える集団の育成及びその集団と一般の方の協力で千葉県睦沢町を始めとする里山の改善活動を行うこと。主な活動は以下のとおり。①チェーンソー講座(機械の構造やメンテナンス、間伐方法、選木など)、②里山改善作業ワークショップ(皮むき間伐やビオトープ整備、山道づくり、多様性を取り戻すための植樹、ドングリからの苗木づくり等)。

### 事業成果

今回のチェーンソー講座では、少人数でかつ7日程と日程的に余裕を持ったことで、参加者が最低でも4本以上の伐採を行うなど十分な実践を積むことができ、今後の活動に生かすことができるようになったと考えている。里山の環境改善作業を進める中で過去に植林されたままに放置されているスギなどを間伐する必要性を感じる中で、間伐を自ら行える人材を増やすことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・昔は山の所有者が自ら里山に入り木を伐採していたが、低価格の外国の木材が主流となり山を放置するようになってしまい里山も荒れていってしまった。若い人たちが自分たちでチェーンソーの使い方を学び美しい里山を蘇らせようと活動してくれるのはとてもうれしい。(80代・近所の方)

### 参加者の声

- ・とてもハードルが高いと思っていた伐採ができるようになりとてもうれしい。既に自分の家の近所の方からも伐採を含めた整備の相談を受けてそれに応えていけそうと思っている。(チェーンソー講座参加者・40代男性)
- ・里山に人が手を入れることでこんなにも光や空気の流れが変わるのを肌で感じられるとは思っていなかった。(里山改善ワークショップ参加者・50代女性)



チェーンソーの構造メンテを学ぶ



チェーンソー講座伐木トレーニング



伐採時の道具を使ってみる



伐倒木を山道に使う

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：44本  
間伐面積：0.2ha  
チェーンソー講座：7回

#### 参加者数

県内：104人  
県外：10人  
計：114人

#### 樹種

アンズ、イチジク、ウメ、ミズキほか

## みんなの森をつくる!プロジェクト

山梨県富士河口湖町



### 事業概要

本事業の目的は、放置林の再生と、森林資源を生かした木工クラフトや環境学習を通じて、地域住民や子どもたちが森と関わる機会を創出することである。主な活動は以下のとおり。①苗木の移植、土壌改良、つる切りを実施し、生物多様性をはぐくむ環境を整備。②シガラづくり、炭焼きやクラフト体験を通じ、伝統的な森林資源活用の技術の継承。③竹を使った流しそうめん体験や、キノコの原木採取、菌打ちなど里山資源を生かした環境保全活動。

### 事業成果

森林や生態系の専門家を招聘し、専門的知見を取り入れながら活動を実施した。これにより、病害虫や森林保全に関する理解が深まり、単なる体験にとどまらず、参加者が森づくりの意義をより実感できる取り組みへと発展した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・非常に速いスピードで森が変わっていくのを見られた。スタッフだけでは、この変化はなかったことだろう。(関係者)
- ・1.3haもの森の整備を進めていくにはもっと多くの人の手を借りなければならないと思う。イベントの内容は非常に濃いものであるから、それに見合った集客ができるよう来年度は広報に力を入れていく。(NPOスタッフ)

### 参加者の声

- ・体力を使う作業が多く大変な面もあったが、環境保全活動に関われてうれしい。(10代男性)
- ・鳥の声や虫の鳴き声の聞こえる自然の中で気持ちよく作業できてよかった。(60代女性)
- ・この森に生えている最も高齢な木は80年生らしい。自分が100歳になったら自分たちの植えた木がこの大きさになっていると思うと、誇らしく思う。(20代男性)



枝打ち作業前のミーティング



製材した材



シイタケ菌の駒打ち



炭焼き

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：100本  
 樹勢回復：30本  
 下刈面積：0.08ha  
 間伐面積：0.05ha

#### 参加者数

県内：68人  
 県外：23人  
 計：91人

#### 樹種

ナラ、クリ、フジザクラ、ブナ

## 集まれ!キッズの森づくり・森あそび

長野県長野市



### 事業概要

目的は、地元集落の方から譲り受けた中山間地の放置林を整備し、自然に触れる機会の少ない都市部の子どもたちやその保護者のための自然体験の場として提供することである。主な活動は以下のとおり。①除伐及び下草刈り等の林内整備、②林内整備を進めるための作業道造成、③間伐材でつくったブランコやネットハンモック等を林内に設置し子どもたちの遊具として使用、④簡易製材機で板を挽きベンチを製作、⑤森の中の樹種を調べる、⑥グリーンウッドワークと焚火を楽しむ。

### 事業成果

これまで目を向けられなかった山林が整備され、イベント等で人が出入りするようになって地域の人たちの関心が増してきた。その一例として、地元集落の方々の見学があったり、地元の小学校から課外活動で使いたい（令和7年度）などの申し入れが来るようになった。

### 事業をよく知る関係者の声

・子を持つ親として、このような森林体験の場はとても貴重だ。子どものみならず、親自身も童心に帰って自然を満喫できた。山間部は森だらけだが、子どもたちを安全に遊ばせることができる森林にはなかなか出会うことがない。このような活動を継続してほしいし、イベントの機会をもっと増やしていただきたい。(40代女性)

### 参加者の声

- ・木のブランコ、ターザンロープ、ツリークライミングなど、どれもスリルがあってメッチャ楽しかった。(小学2年男子)
- ・冬芽の観察が面白かった。動物の顔に似ている冬芽もあり、森に入るのが楽しみになった。(小学4年女子)
- ・チェーンソー製材を体験した。工業高校で建築を学んでいるので木の特性などが少し分かり勉強になった。(高校1年男子)



ツリークライミング。はじめは降りる練習から



設置したハンモック。ここに上るのもひと苦労



高校生がチェーンソー製材を体験



シイタケの駒打ち指導

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

作業道整備：280m（支障木伐採。伐採木は薪材ならびに土留め用として使用）  
森林体験：4回  
製材体験：2回  
駒打体験：1回

#### 参加者数

県内：117人  
計：117人

# 高山市森部地域 飛騨漆の森づくり推進事業

岐阜県高山市



## 事業概要

飛騨春慶漆器などの産地・飛騨で循環して育てて使用されていた植物「ウルシ」と得られる塗料「漆」について、荒廃した山林や耕作放棄地に約15年にわたり毎年継続してウルシを植樹し、「育てて使う」ウルシの森の再生を目指す。主な活動は以下のとおり。①地元の種から育てた苗を荒廃した耕作放棄地等に植栽するウルシの森の再生、②ウルシの成長を阻害する侵入木の伐採と下刈り（つる切りを含む）、③ウルシの植栽を通し一般市民・学生等に「育てて使う」大切さと森林環境・漆への関心の啓発。

## 事業成果

春のドカ雪の重みで下枝が折れたものがあり心配したが、ベテランの指導による剪定作業により夏には葉が茂り回復した。植樹祭には小学校教諭も新たに参加し、ウルシの循環利用や森林整備に興味を持っていただいた。令和7年7月に市内の小学5年生を対象に取り組みを説明することとな

り、植樹活動の更なる広がりの可能性が確認できた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・体験した植樹と下刈りにより地元の飛騨春慶漆器が使用する漆を将来得られることや、循環利用する森林づくりについて子どもたちに教えたいと思った。(40代、市内小学校教諭)
- ・ウルシ植栽が衰退した漆器産業の再興につながることや、荒廃した山林が健全な里山の保全にもつながることを多くの方に知ってほしいと思う。(50代、報道関係者)

## 参加者の声

- ・下草刈りが大変だった。植えてあるウルシが大きくなって漆が採れるようになるのは大学生の頃かもしれないが、体験イベントがあれば見に来たい。(中学生男子)
- ・飛騨春慶漆器は知っているがウルシの木から漆を採るのが大変なことを知ることができた。自然とふれあう植樹体験を子どもとできて良かった。(30代、女性)



種蒔き



春季植樹祭、植樹作業



下刈り風景



秋季植樹祭、参加者記念撮影

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.20ha  
 植付本数：204本  
 樹勢回復：22本  
 下刈面積：2.25ha  
 除伐面積：0.05ha  
 耕作放棄地の開墾、草刈り、  
 剪定ほか：14回

#### 参加者数

県内：235人  
 県外：4人  
 計：239人

#### 樹種

ウルシ

## 竹林整備・地球を守るビオトープ整備事業

愛知県名古屋市



### 事業概要

当園では行動的な思考づくり、健康な体づくり、明るい友だちづくりができる子どもたちを育てることを教育方針としている。以上のことを目標として園庭にある密になった竹林を適度に間引き、枯竹を除伐することで日当たりが良くなり、地被や木本類が生えやすくなり、植生環境も豊かになる。明るく見通しの良くなった竹林には、子どもたちが散策できるように、除根をして段差が無いようにする。散策路には木材チップを敷き、歩き心地の良い通路とし、通路の下には様々な生物が生息・生育するようになる。自然環境の中で遊ぶことは子どもたちの貴重な原体験となる。

### 事業成果

竹林の整備については古い竹林から間伐することで若い竹林へと更新できた。また、維持管理についても講師の方



園児も作業に参加



竹の間引作業



間引いた竹を除根して散策路づくり



散策路へ木チップを敷均し

に詳しく教わり、今後の管理計画を進めやすくなった。広場の整備についても園芸種の伐採や果樹の移植を行い、計画地の全体像が見えてきたことで今後の整備についての方針が明確となった。子どもたちが自然の中で活動する環境が増えたことで環境教育への幅が広がった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちが竹林や野原で元気いっぱい遊ぶ姿を見ていると心が癒される。しかし広場には外来種なども多く、園長の目標「日本の原風景」にはまだやらなければいけないことがあると思う。子どもたちの心に残る風景を来期以降作っていきたいと思う。また、先生たちと共に維持管理作業にも力を入れていきたい。(50代、園関係者)

### 参加者の声

- ・今まで入れなかった竹林に、転んでもいたくないチップの道ができた。歩くとフワフワして気持ちいいのでたくさん遊びたい。(年長園児)
- ・広場が広くなって走れるようになった。虫たちもたくさん来てくれるといいと思った。(年中園児)

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付本数：3本  
竹林間引（間伐）：350㎡

##### 参加者数

県内：66人  
計：66人

##### 樹種

ヤマザクラ、イロハモミジ、ミカン

## 地域性苗木の育苗と森づくり

滋賀県高島市



## 事業概要

目的は、地域の遺伝子資源を守り、地域性苗木の育苗と山への植樹を通して、生態系機能の備った多種共存の森林を再生するものである。主な活動内容は、地域の山の木から種を採取し、地域の遺伝子を引き継ぐ苗木を育てる「地域性苗木の育苗」と、地域性苗木を山林に植樹し、地域の生態系に配慮した「森づくり」である。

## 事業成果

植栽後の植栽地管理、獣害柵の維持管理作業が新たに始まり、木々の成長への興味関心、獣害対策に関する意識の向上など、会員の間で機運が高まった。植栽地を「たねの森」と名付け、会員にとっても愛着のある場所となりつつある。また、地元の林業事業体と提携して造林地に地域性苗木を植栽するなど、地域性苗木の用途が広がった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・他地域の環境保全団体などとのつながりができ、互いの活動を支援するなど、良い関係性が生まれている。
- ・広葉樹植栽には多くの課題がある中、モデル林として経過観察、記録し、発信していくことで、山林緑化の手法の選択肢を広げていきたい。
- ・地元の協力体制を構築し、地域性苗木による地域の森づくりを協働事業として推し進めていきたい。

## 参加者の声

- ・育てた小さな苗木を植樹し、大きく成長していく姿を追うのは感無量の体験で、小さな活動ではあるが他では味わえない喜びを得られた (70代女性)
- ・タネカラプロジェクトでは、3本まとめて植えたり、粗密のある配置で植栽したりした。最初は違和感があったが、よく考えてみれば自然の森には後者の方が似つかわしい。どのような森になるのか楽しみだ。(60代男性)



たねひろいイベント



たねひろいイベント集合写真



育苗作業



草刈り作業

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付本数：80本  
育苗作業：6回  
種子採取：3回  
森林調査：2回  
育苗苗木：2,500本

## 参加者数

県内：46人  
県外：61人  
計：107人

## 樹種

トチノキ、ホオノキ、先駆性樹種など

## うなぎの森植樹祭 (大阪・森は海の恋人)

大阪府高槻市



### 事業概要

全ての命は海で発生し、山と川と海は一体。腐葉土のフルボン酸が水中の鉄分と化合しプランクトンの養分になり、魚貝類の餌になる。森の管理が生命の連鎖にいかにか大切かということを人々に体感してもらうとともに、絶滅危惧種の淀川の鰻の復活を目途に森林整備活動を実施した。2018年の台風で約700haの風倒木被害を受けた淀川の水源地である大阪府北摂の高槻市の森林で、大阪府木材連合会会員を始めマスコミ、漁業・森林関係団体、企業、ロータリー市民、子ども、行政、大学、NPO等幅広い人々により、植樹、森林整備活動を実施し、参加者に森川海の生態系の保全と森林の早期復旧の大切さを体感してもらった。

### 事業成果

毎年、子どもから大人まで様々な年代の方が参加されるが、今年もたくさんの外国人留学生の参加があり、植樹活動に大変満足された様子であった。植樹活動に国境はないのだと感じ、引き続き留学生との交流も図っていきたい。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・植樹の実演やサポートがあり、たいへんやりやすかった。

### 参加者の声

- ・前日雨が降って土が濡れていたのでも土が柔らかく、泥だらけになりながらも皆さん精一杯植樹に励んでくれた。昼ごはんはBBQをして、お腹も心も満たされた1日となった。本当にありがとうございました。



ポット苗をていねいに植栽



植栽後、シカ被害対策を実施



ヤマザクラの苗木



集合写真

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：150本  
 下刈面積：3.0ha  
 除伐面積：3.0ha  
 植樹地穴掘り：1回  
 防鹿柵準備：1回  
 森林教室：1回  
 水やり：1回

#### 参加者数

府内：175人  
 府外：10人  
 計：185人

#### 樹種

ヤマザクラ、イロハモミジ

## みどりの一步事業

大阪府大阪市、堺市、岸和田市



### 事業概要

目的は、緑化推進と幼児たちに自然への関心を広げること。活動内容は、①園敷地内において子どもたちによる植樹、②緑の教室（木や森林、自然の大切さを伝える、草木で遊ぶ楽しさを伝える）。

### 事業成果

多くの園児・園職員の参加があり、木や森林、自然に親しみを持つきっかけとすることができた。自然の少ない大阪都市部の子どもたちに、幼少期に木を植え、自然に親しむ機会を提供することは、将来の環境問題、環境保全の取り組みにつながっていくと考えている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・もっと子どもたちが主体的に植樹に参加するようなプログラムの工夫をしていきたい。(スタッフ)

### 参加者の声

- ・自然物で遊ぶことが少ないので、このように身近なもので楽しめたのが良かった。(園職員)
- ・木について理解を深めることができたため、園庭や公園の木を見て「何歳かな?」と考えている子がいた。(園職員)
- ・植樹だけでなく、緑の教室があり、子どもたちも楽しみながら興味を持っていたので良かった。(園職員)



植樹する苗木についての紙芝居



植樹



緑の教室（絵本に出てきた杉を知る）



緑の教室（園庭の葉っぱ探偵）

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付本数：20本  
その他：緑の教室 4回開催

##### 参加者数

府内：226人  
計：226人

##### 樹種

クヌギ、キンモクセイ、オリーブ、アジサイ、ツツジほか

## おおつか里山桜並木回廊事業

島根県安来市



### 事業概要

約60年前に溜池完工を記念して植林されたサクラが、枯渇雑木林と化しており、本事業で桜並木を復元。植樹したサクラの苗木の健全な生育環境管理、地域住民の新たなコミュニケーションの拠点となる溜池右岸部の里山区域の環境整備を目的とする。

### 事業成果

本事業を事業創成期の仕上げの年度と位置付け、事業目的を達成するため、①サクラの苗木の年間を通じた病虫害防止作業、②肥培管理・草刈り作業、③地域住民が四季を通じて豊かな心をはぐくむのにふさわしい里山環境整備(ツツジ、モミジ等の低灌木の植栽)に着手する。令和3～5年度に植樹した苗木の活着が不良となっている箇所の補植作業を実施したが、今年度新たに植樹する。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・少人数の高齢者中心の事業活動は限界で、植樹区域の今後の管理作業は次世代へバトンタッチすべき。PR活動等を努力すべき。
- ・事業目的となっている往年の桜並木が復活し、四季折々にわたり映える今後の里山景観が楽しみである。

### 参加者の声

- ・地域住民が日常往来する道から見える区域にサクラ等が植樹され、四季を通じて里山景観を楽しめるようになった。
- ・子どもの頃、溜池周辺で遊んだ風景、満開のサクラの元で家族・親戚で楽しんだ宴会が思い出される。往年の里山景観が復元されることを期待している。
- ・数年後に、溜池改修工事が完工すれば、溜池周辺部一帯に新たな里山景観が生まれることとなる。



植樹区域の遠景



植樹前の桜、モミジ等の苗木



植樹区域の苗木の生長状況調査



令和3年度植樹の桜の苗木の生育状況

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.2ha  
植付本数：235本

#### 参加者数

県内：24人  
計：24人

#### 樹種

サクラ、ツツジ、モミジ

# 広島の子どもと未来の森づくり応援事業

広島県三次市



## 事業概要

目的は、荒廃する里山の健全さを取り戻すため、将来の森を担う子どもたちに森の価値や関わりを体験してもらうため森の中での体験イベントを開催することである。主な活動は以下のとおり。①親子で学ぶ森の環境改善ワークショップ、②森のリースづくり、③木こり体験と森の焚き火、④五感で森を歩く・森の恵みの感謝祭。

## 事業成果

体験イベントには、親子、教育関係者、森林環境活動団体など幅広い層が参加し、当団体の森林保全活動が知られることとなった。特に親子参加者には、普段なじみのない森の中での体験活動を通して、森の現状や手入れの必要性、森の恵みのありがたさなどを学んでいただくきっかけとなった。また、イベントの広報活動により、地元教育関係者が当団体の活動に興味をもつなど、当団体が地域に知られ、

今後の森づくり活動につながる手応えを得た。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・森林ボランティア活動や森の中の体験イベントは、子どもたちにとっても貴重なものであり、地域に根ざした有意義な活動である。今後は、学校関係者や森のようちえん活動など、里山体験活動を実施されている方たちと連携を図るなど活動を継続していってもらいたい。(地元観光推進機構担当者)

## 参加者の声

- ・森の中の階段づくりは、子どもも意欲的にできて楽しかったようでまたつくりたいと言っていた。(30代親子参加者)
- ・山を通じてつながりや癒しが生まれたり山の物が売れて活動が広がったりといったお話に興味を持てた。またお話を伺ったりイベントに参加したい。(30代親子参加者)



森で遊ぶ



五感を使って森を感じる



キコりにチャレンジ



作業道周辺の危険木の処理

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

径路整備：9回  
倒木等処理：40本  
林内巡視：8回

#### 参加者数

県内：38人  
県外：4人  
計：42人

## わくわくガーデン・新しいコミュニティの森づくり

山口県周南市



### 事業概要

目的は、里山の荒廃を防ぎ、多様な人々が自然と関わりながら交流できる場を創出し、持続可能な地域の活性化を図ることにある。主な活動は以下のとおり。①空き地を活用し、参加者と共にガーデン造成・木漏れ日の森づくり、②里山風景に調和し、四季の魅力を感じられる環境づくりの一環として落葉樹を植樹、③ガーデン及び立上げ式花壇（レイズドベッド）などの整備、季節の草花の植栽・管理、④障がい者や子ども、高齢者など多様な層が安心して参加できる活動環境の整備、⑤木漏れ日コンサートやオープンガーデンデーの開催による地域発信と交流促進。

### 事業成果

- ・木漏れ日が差し込む心地よい空間づくりを目指し、紅葉が美しい落葉樹を植樹した。
- ・車椅子でもアクセス可能な園路や立ち上げ式花壇の整備など、バリアフリー化が進んだ。



年配者から子どもたちに方法を伝えワクワクと杉の皮むぎ実施



大学生と一緒に山野草を植栽



参加メンバーで穴を掘り落葉樹を植樹



参加者の集合写真

- ・活動回数は年間21回、延べ参加者は250人を超え、学生、地域住民、子ども、障がいのある方など、多様な人々が協働し交流する場としての役割が定着しつつある。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・荒れていた土地が再生され、子どもから高齢者までが自然に親しめる場所になってきている。参加者が楽しみながら活動している姿もとても好感が持てる。小学校や高齢者施設との連携も期待したい。(住民・60代女性)
- ・大学との連携がうまく機能している。教育・研究・地域貢献の観点からも意義がある。一方で、活動の継続性を支える仕組みづくりや、活動内容の可視化・発信力の強化が次の段階の課題になる。地域と学生が共に成長できるような協働モデルに発展させたい。(大学関係者・教員)

### 参加者の声

- ・落ち葉や草花を見ながらの作業は楽しく、季節の移り変わりを感じられて癒された。(60代女性)
- ・山野草や落葉木を自然の中に植えるのは初めてで、将来の森をつくっている感じがしてワクワクした。(学生・20代女性)
- ・スギの木ばかりじゃなくて、いろいろな木があった方がきれいだったと思った。(小学生・女子)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.01ha  
 植付本数：6本  
 ガーデンづくり活動：植樹地の整地、山野草・花・野菜の植付地整地、植栽、立上げ式花壇整備

#### 参加者数

県内：262人  
 計：262人

#### 樹種

コナラ、ナツハゼ

## 黒田藩からつづく宮永茶屋での森づくり

福岡県宮若市



### 事業概要

古民家「宮永茶屋」に隣接する植林地をシカ食害から守り、季節感のある広葉樹の森として整備することを目的に、次の活動を行った。①獣害防止柵の設置。0.13haの植林地に1m×2mワイヤーメッシュ126枚、上部にノリ網を設置し、高さ2mの柵を張り巡らせた。②植樹(補植)。過去に植樹された樹木が枯れたり、盆栽のようになっていたため、獣害防止柵設置後に広葉樹50本(ヤマザクラ、イロハモミジ、ホオノキ、ビワ)を植樹した。

### 事業成果

少人数での実施だったが、県外(関西エリア、海外)からの参加もあり、お互いの地域の森林環境などを通じて、鳥獣害対策や森林管理の重要性を共有することができた。天候不順もあり、足場の悪い中での作業だったが、新しい参加者の効果もあり、モチベーションを保って楽しく活動す

ることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ワイヤーメッシュ設置は素人にはなかなか大変だったと思う。皆さんよく頑張ってくれた。(技術指導の農家)
- ・イノシシ、シカの被害は深刻だ。今後の草刈りなどの森林管理をどのようにやっていくのか、長期的な検討が必要ではないか。(林業家)

### 参加者の声

- ・足元が悪くハードワークだったが、はじめての作業で楽しかった。(関西地方からの参加者)
- ・普段は事務職なので森の活動は新鮮だった。ご飯がおいしかった。(福岡市からの参加者)
- ・日本の森で働くことができ、イノシシ、シカの被害が大変なことを学んだ。(ポーランドからの参加者)



防護柵設置作業



防護柵設置に集まった参加者



購入した苗木



植樹

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.13ha  
植付本数：50本  
防護柵設置：252m(ワイヤーメッシュ、ノリ網設置)

#### 参加者数

県内：15人  
県外：2人  
計：17人

#### 樹種

ヤマザクラ、イロハモミジ、ホオノキ、ビワ

## 天草の森づくり、健康づくり、森の学習会

熊本県天草市



### 事業概要

森を愛し大切に思う人たちの拡大を図るためには、森と人との関わりを楽しく学ぶ植樹会や環境教育を行う場を設ける必要がある。産官学の多くの関係者が募集した参加者を対象に、①植樹、②草木の薬効や食等の専門家を招いての講演会、③宿泊施設周辺での植物学習会、④自生植物への名板の設置、を実施し、緑の募金への呼びかけ、普及・啓発活動を行った。

### 事業成果

植物と健康の関わりに関心がある方々を対象に、1泊2日の研修方式で啓発事業を実施した。専門家の指導で生育環境に合ったアオモジを植樹し、漢方薬としての効能についてのレクチャーもあり、長寿社会に向けた健康な生活維持の観点からも良い学びができた。また、参加者自身が夏場の異常気象、地球温暖化などの生活環境の変化を身近なものと感じることが多く、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>を低減

する働きのある森の大切さについて、少しずつだが浸透しつつある。参加者は前回の約2倍となり、一般参加者が多数を占めた。

### 事業をよく知る関係者の声

- 参加者から、健康を保つための日常の食事や薬用植物に関する質問が多く寄せられ、熊本大学薬学部教授の回答を、とても興味深く聴講していた。今後もこのような自然環境への理解と、日常生活での有用植物の利用が進むような体験講座などを行うことで、自然を愛し大切にする心を持った親子を増やす活動ができると考えている。(関係者)

### 参加者の声

- 参加者は女性が多く、アオモジの植樹活動は作業が大変だと思っていたが、場所・用具等の準備ができていたため、皆で分業しながらスムーズにできた。薬学部教授の薬草に関するお話は、身近に多くの薬草があること、健康的な生活に役立てることができると、日常の活動に変化が起きそうな気がした。自然環境を大切にして、保護と活用を考えたい。(主婦・40・50代、他同意見)



植樹作業



宿泊施設周辺での植物学習会



専門家による講演会



集合写真

### 実績とりまとめ

**作業内容**  
 植付面積：2.0ha  
 植付本数：100本

**参加者数**  
 県内：52人  
 計：52人

**樹種**  
 アオモジ

## 里山から始まる多世代ふれあいの居場所

宮崎県三股町



## 事業概要

地域のつながりや多世代の居場所づくりを行うことを目的に、耕作放棄地や隣接する放置林などの定期的整備と、多職種多世代の交流イベントなどを実施した。作業成果が明確で交流による地域のつながりを確認できた。また、伐採や植樹、定期的整備などにより環境が整ったことで、子どもや高校生などの体験学習の場として様々な活動を実施でき、不登校の生徒の家族会などの活動場所、子どもの遊び場、植物観察の場など、多様な活動につながった。

## 事業成果

耕作放棄地や隣接する森の手入れにて環境を維持しながら、子どもや高校生の体験学習の場として様々な活動ができた。環境省の実施する「自然共生サイト」登録となったこ

とで環境に対する意識が高まった。様々なサークルの活動の場所としての利用や子どもの遊び場として訪問者が増えた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・専門家の里山の調査によって自然環境を知ること、自分の住む環境の素晴らしさを知ることができた。居場所により地域のつながりがつくりやすい。(地域住民)
- ・季節の植物の変化や鳥の鳴き声が変わっていき自然の不思議さを改めて知った。(生徒)

## 参加者の声

- ・2種類のホタルが乱舞する姿に感動した。維持できる環境が守られるといい。(訪問者)
- ・コロナ禍などによって長く地域で協働作業をすることがなく、地域の孤立性が高まっていくと感じていたが、多世代参加のイベントによって交流が深まり、作業効果が明確で、環境を整えることの大切さを実感できた。継続できると良い。(イベント参加・住民)



多職種多世代の交流イベント(植樹)



様々な活動の場所として訪問者が増えた(竹フェス)



整備で搬出したタケで竹灯籠づくり



活動拠点のトイレ完成

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付本数：40本  
除伐本数：4本  
森林資源活用：3回(キャンドルづくりのための竹灯籠づくり)  
竹林整備(竹フェス)：3回

## 参加者数

県内：177人  
計：177人

## 樹種

サクラ、モミジ、ヒメシャラ  
ほか

## 森林の働きや役割・大切さを学ぼう!

鹿児島県始良市



### 事業概要

普段、森林とふれあう機会の少ない方々に、生活に身近な森林の魅力を知っていただくとともに、その働きや役割、大切さを学んでもらうことを目的に以下の事業を行った。

- ①林間学校の開催（親子参加型の森林環境学習）、②森林・林業体験バスツアーの開催（県内企業・施設との連携）、③キノコ（ヒラタケ）栽培教室、④森林・林業体験バスツアーの開催（特用林産物体験）。

### 事業成果

実施プログラムを充実させ、木工体験の種類を増やすなど、参加者増加に向けて実施側も努力を重ね、次の機会にも備えることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森林・林業バスツアーの参加者は、比較的年輩の方の参加が多い。児童や学生など若い世代も参加してみたいくなるような企画を考え、さらなる参加者増加につなげてはどうか。

### 参加者の声

- ・タケノコや山菜収穫など、山の恵みを楽しみながら、春の訪れを肌で感じる事ができた。（参加者・70代女性）
- ・森林の生育には長年かかる。次世代に豊かな森を残すため、植栽活動にも協力したい。（参加者・70代男性）
- ・毎回、木工体験等が楽しみである。次回は孫にも体験させたい。（参加者・60代女性）



木工体験教室（ティッシュペーパーケースづくり）



林間学校での昆虫観察（座学）



タケノコ掘りに挑戦



現在の木材流通等についての学習（伊万里木材市場）

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

親子参加型の森林環境学習  
森林・林業体験バスツアーの開催  
キノコ（ヒラタケ）栽培教室

#### 参加者数

県内：23人  
計：23人

